

記念式典は七月下旬

市制三十周年記念事業の概要

昭和二十九年二月十一日、日光が県内六番目の市として誕生してから、今年で満三十年を迎えました。市では、市制三十周年を、一人でも多くの市民が参加して祝うため、記念事業や行事の検討を進めていきましたが、三月二十七日総合会館で開いた「日光市制施行三十周年記念行事等実行委員会」（会長齋藤日

昭市長）で、これらの記念事業・行事の概要が決まりました。

同実行委員会では、この日の会議で委員から提案された意見や要望も含め、総務、文化、観光の四部会で、日程など細部について具体的な計画を策定し、実施に移していくと考えています。

回顧展や芸能大会

NHK番組の公開も

行事部会は、三十年の歴史を写真と文献等で紹介する回顧記念展、市内著名人芸能大会や市

三十周年記念として開催します。このほか、市民だれもが気軽に参加できるスポーツ大会も数多く開催し、市民の体位向上、技術の向上、コミュニケーションを図ります。



の木に指定された「いちい」の記念植樹、記念配布会などを行います。

観光部会は、NHKラジオのFMリクエストアワーの公開放送、記念夏まつり、商店界記念大売出しを開催するほか、景品付の記念たばこ発売なども予定しています。

なお、記念行事等の日程は、今、各部会で調整を急いでおり、近く決定することになっていきますので、六月号の広報でお知らせします。

皆さんの積極的な参加とご協力をお願いいたします。

（仮称）の建設計画案の樹立などを行います。

文化部会では、小中学生によるコンサート、運動会、文化祭も内容を充実し

特級品「日光の水」

厚生省の分析で化学的に裏付

日光の水は特にうまい——

これは、どんな水がおいしい

かを、厚生省が化学的に分析

数値化した「おいしい水の要件」

に、日光の水道水がピタリと当

てはまったもので、以前から、

うまいと評判の高かった日光の

水が、化学的にも裏付けられた

ことになります。

厚生省がまとめた「おいしい

水の要件」とは、まず、▽水の

硬さを示す硬度は、カルシウム

マグネシウム等の合計量が水一

リ内に五十、グラム以下、▽水

一リを蒸発させたあとの残留物

（カルシウム、マグネシウム、

ナトリウム、カリウムなどの鉱物イオン）は五十—二百、グラム

▽塩素イオンは水一リ内に五十、グラム以下——などとなっており、日光の水道水はこれらの条件を満たしていることになりました。（表）

日光の水がおいしいのは、自然環境がきれいで水が汚されていない、必要最少限の薬品使用ですむため、臭味が多くなっている、適度な水温が保たれている——などがあげられます。

おいしい水の要件		日光の水道水
硬度（カルシウム、マグネシウム）	50mg/ℓ以下	22mg/ℓ
蒸発残留物（鉱物イオン）	50—200mg/ℓ	77mg/ℓ
塩素イオン	50mg/ℓ以下	1.3mg/ℓ
過マンガン酸カリ消費量	1.0mg/ℓ以下	0.5mg/ℓ
鉄	0.02mg/ℓ以下	0.05mg/ℓ
水素イオン濃度（PH）	6.0—7.5	7.2
臭味	なし	なし

実行委員会で決められた記念事業・行事は全部で二十八事業ですが、この中には、「市の花」「市の木」「キャッチフレーズ」の選定などすでに実施したのもあります。実施の決まった事業等の主なものを各部会にご紹介しますと——

パレードや

作文の募集も

まず、総務部会では、記念式典や功労者の表彰をはじめ、記念誌を発行して全世帯に配布するほか、小倉山森林公園の整備事業、博物館または記念館建設のための調査検討、郷土センタ